



5年生、校外学習に行ってきました。

心豊かに、助け合う子ども
よく考え、学習する子ども

- 11月13日（金）、総合の授業（中道の歴史・文化財について）として、5年生が校外学習に行ってきました。場所（学習コース）は、かんかん地蔵→御左口神社→下宿道祖神→米山館→往還の町並み→敬泉寺 で、ねらいは「中道往還を歩きながら、町に残る歴史や文化財を見学する。」「中道往還の歴史跡にふれ、町の歴史に関心を持つ。いて考える。」「古墳の特徴から、当時の地域の様子を想像する。」です。
- 当日は好天に恵まれ、比較的温かい陽気の中で、約2時間かけて巡ってきました。学校だより14号に載せました「6年生の校外学習」の際にも少しふれましたが、中学校社会科の教員である私をはじめ、社会科教員にとって『中道往還』は、中道地区の方だけでなく、市内県内の教員また県民にとって、学ぶべき価値のある史料です。講師の方をお呼びして、『中道往還』について話をさせていただいたこともあります。
- 6年生が行った銚子塚古墳そして『中道往還』も日常の風景あるいは通る道かもしれませんが、往還沿いの文化財も含め、貴重なものが中道地区にたくさんあることを誇りに思い、歴史の深さを感じながら生活することが、歴史を受け継いでいく私たちの役目、できることではないかと感じます。



廃品回収、ご協力ありがとうございました！

- 11月15日（日）、早朝から地区の役員さん、PTA役員さんを中心に、保護者の皆様には廃品回収にご協力いただき、本当にありがとうございました。私も初めて廃品回収の場に立ち会わせていただき、次から次へと資源を積んだ軽トラック、車の台数、そして資源の量にびっくりしました。
- 本来ならば、地区・自治会の収益になるところを、この日のためにストックして持ち寄っていただき、さらに、収益を学校の教育活動に使わせていただくということで、本当に感謝申し上げます。1学期に集めていただいた同窓会費も同様ですが、地区の方々・保護者の皆様に支えられていることを痛感いたします。改めまして、ありがとうございました。

凡事徹底「一日一話」より、いい話～その2～

- 「不便」・・・便利になるのはよいことです。では、不便はすべて悪いことかということ、そうとは言えません。不便を不便のままにせず、自分でどうにかよくしようとする人にとっては、不便が成長の糧（かて）になります。便利な生活に慣れ親しんできた私たち現代人にとっては、不便も貴重な学びの場。不便だからこそ、考え、工夫改善するのが人間だからです。
- 「紙一枚分の努力」・・・たとえば、500枚重ねてある紙を毎日一枚ずつめくって、その横に積み上げていったとします。1～10枚くらいまでは、見た目にも重ねてある紙の高さが減ったかどうかわかりません。しかし、さらに続けていくと、はっきりとその差がわかるようになります。このように、たとえ一日の努力はわずかでも、続けることで、紙一枚分の努力が大きな差になります。
- 「一流の人」・・・人間を大きく分けると、次の三つに分類できます。一流の人、二流の人、三流の人。
☆一流の人・・・すぐやる人 □二流の人・・・あとでやる人 ★三流の人・・・あとでやろうと思って放置している人
気づいたことは、その場で処理するのが一番。後回しにしないことです。

心豊かに、助け合う子ども
よく考え、学習する子ども

6年生、いよいよ修学旅行に出発します！

- 9月に延期になり、さらに再延期となりました「6年生の修学旅行」。25日（水）～27日（金）の2泊3日の旅に出発します。方面は静岡・箱根・鎌倉です。再び増えてきているコロナ、万全の感染症対策を行いながら、6年生にとって有意義な楽しい、また人としてさらに成長できる修学旅行にしたいと思えます。いざ出発！
- ※私事で申し訳ありませんが、私の実母の葬儀に際しまして、PTAからお心遣いを賜り、ありがとうございました。1週間あとの旅立ちでしたら、修学旅行の団長としての任が果たせなかったかもしれません。母の最期の気遣いだったのでは、と感じます。今後とも微力ながら中道南小のために精進させていただきます。

